



P T A とちぎ

とちぎPTA新聞207号

発行／栃木県PTA連合会

〒320-0066 宇都宮市駒生1-1-6

栃木県教育会館内

TEL 028 (622) 2833

FAX 028 (622) 2834

子育てセミナー2023

【しあわせ脳に育てよう】

講師 黒川伊保子氏

令和5年11月12日（日）

教育会館大ホール

PROFILE

1959年、長野県生まれ、栃木県育ち。

1983年、奈良女子大学 理学部 物理学科卒。

ヒトと人工知能の対話研究の立場から、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓いた感性研究の第一人者。

脳の気分を読み解くスペシャリスト（感性アナリスト）である。

コンピュータメーカーにてAI開発に携わり男女の感性の違いやことばの発音が脳にもたらす効果に気づき、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓く。

2003年、株式会社感性リサーチを設立、脳科学の知見をマーケティングに活かすコンサルタントとして現在に至る。

特に、男女脳論とネーミングの領域では異色の存在となり大塚製薬のSoyJoyをはじめ多くの商品名に貢献。

人間関係のイライラやモヤモヤに“目からウロコ”の解決策をもたらす著作も多く、『妻のトリセツ』をはじめとするトリセツシリーズは累計で100万部を超える人気。

現在は、NHKラジオ第一の生放送番組「ふんわり」

(8:30～11:50) の金曜メインパーソナリティーも務める。



今年の子育てセミナーの講師は、栃木県育ちで、人口能研究者でもある「黒川 伊保子先生」に【しあわせ脳に育てよう】というテーマで、子どもたちがしあわせ脳に育つポイントなどを講演していただきました。

普段の生活習慣の影響で子どもたちの脳が良くなるし、悪くなることや、子どもへの親の接し方ひとつで子どもたちの脳がしあわせ脳に育つこと、また黒川先生ご自身の子育てのエピソードなどを赤裸々に語って頂いたことで、多くの気づきと学びを得られた子育てセミナーとなりました。

黒川先生から教えて頂いたことを胸に刻み、子どもたちをより良く成長させられる親になれるよう、親である私自身も子供と一緒に成長しようと思いました。

副会長 田中健



栃木県PTA連合会推薦図書
初版から40年以上にわたるご愛顧 ありがとうございます

「新しい常用漢字辞典」 「改訂 熟語辞典」
「改訂 ことわざ・慣用句・四字熟語辞典」

教育図書学参部 TEL/FAX(無料) 0120-963-180

子どもの
脳の育て方

AI時代を生き抜く力

黒川伊保子



第55回関東ブロック研究大会ちば大会

「Re:〇〇」～ちば発 明日につながる PTA のカタチ～

令和5年10月28日(土)・29日(日)

Refresh/Reborn/Release/Remind/
Respect/Redesign/Revolution この7
つの頭文字の「Re」を取り、それ
ぞれの想いが込められておりま
す。7つの分科会は、この「Re」
のテーマに沿って、28日(土)に、
7会場で開催されました。

日本PTA関東ブロック大会
ちば大会が令和5年10月28
(土)・29日(日)と開催されま
した。大会スローガンである「Re:
〇〇」とは、コロナ禍を経てこれ
から、新しいPTAのカタチを、
私たちが見つけ、形作っていこ
う！というメッセージが込められ
ております。



八千代高校パフォーマンス

29日(日)は、千葉ポートアリ
ーナのメインアリーナで全体会と
して、大会式典・記念講演会が人
数制限なく開催されました。ご来
賓の方々が多数列席され、緊張感
漂う厳かな式典でありましたが
盛会で、最後は会場が笑顔であふ
れるそんな時間を過ごすことがで
きました。オープニングは地元の
高校生(千葉県立八千代高等学
校)による、和太鼓と書道パフォ
ーマンは圧巻で、目の前で書き上
げていくその勇ましい姿に感動し
ました。

記念講演では、放送作家の鈴木
おさむ氏をお招きしての「〓鈴木
おさむ流 〇〇のカタチ」とい
う演題のもと、60分の講演を拝
聴しました。

《第5分科会》

『学校と家庭におけるICT機器の
効果的な活用に向けて～ICT機器の
利用と基本的生活習慣の確立～』

学校と家庭が一体となって ICT 機器
の効果的な活用の方法と、子どもたちの
望ましい生活習慣の確立に向けて研究
した成果を発表いただきました。

那珂川町立馬頭中学校
前PTA会長
齋藤 高洋氏



放送作家を目指したきっかけが
学校の先生や友人にあった話や、
奥様であり芸人の大島美幸さん
のお話。中でも出産のお話は、会
場の笑いが止まりませんでした。

放送作家として有名になった過
程には、人との出会いと逆境を武
器に変える精神力で何度も苦境
を超えた結果という話。どの場面
を切り取っても、感動と笑いがあ
り、あつという間の60分でした。

特に、自分の『付加価値』とい
うお話は、子育て中の我が子に対
しても、当てはまるお話でした。
誰もができるわけではない、特別
な経験は、自分の付加価値を高
め、それを武器にすること。

鈴木氏はそれをモットーに32
年間、自他ともに認める天職と言
えるテレビ業界で仕事をしてきま
したが、一転、今の自分の背中を
子どもに見せようと決め、放送作
家を引退なされました。これが
「鈴木おさむ流 家族のカタチ」
そう締めくくりました。子育てを
している親であれば、我が子のこ
とを一番に思い、親の背中を示す
ことは、大切なことであるという
鈴木氏からのメッセージに改めて
感動いたしました。盛会に幕を閉
じたちば大会。次回は、川崎の地
で開催されます。

情報委員長 山本 和紀



全体会参加者集合写真

日本PTA全国協議会年次表彰式

令和5年11月24日(金)

東京ホテルニューオータニにて
公益社団法人日本PTA全国協議会年次表彰式が開催され、PTAの振興及び発展に寄与された団体と多年にわたり活動に貢献された個人に対し各賞が送られました。

本県からは次の団体と個人の方が表彰されました。

おめでとうございます。

◆優良PTA文部科学大臣表彰
日光市立清滝小学校PTA

◆日本PTA全国協議会
会長表彰(団体)

那須塩原市立関谷小学校PTA
那珂川町立馬頭中学校PTA

◆日本PTA全国協議会
会長表彰(個人)

久保木 徹 (那須塩原市)
滝口 貴史 (那須烏山市)
北原 裕子 (大田原市)
柿沼 麻梨子 (佐野市)



表彰者集合写真

◆日本PTA全国協議会
会長表彰(特別)

大関 宗作 (宇都宮市)
木方 香織 (宇都宮市)
佐藤 直美 (宇都宮市)
佐藤 晴彦 (高根沢町)
篠江 秀典 (高根沢町)

◆広報紙コンクール

教育家家庭新聞社社長賞
宇都宮市立姿川中学校PTA

受賞にあたり



大関氏 & 木方氏

元情報委員長 大関 宗作

このような賞を受賞できたのは、小中の9年間のPTA活動で出会えた先生方、地域の方々、そしてたくさんの方々の保護者の方々のおかげです。その方々と出会えたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

私はPTA活動をやってきて、笑っている子どもをより笑顔にするのは、単位PTAの役目であり、泣いている子どもを笑顔にするのは、市町P連や県P連又は日Pの役目だと思います。

子どもたちの中には、いじめ、不登校、虐待、ヤングケアラーなど様々な問題を抱えている子どもが居ます。歌手のちゃんみなさんの「美人」という曲に「前例がないのは怖いんかい、ならお手本になれない。怖がったままはどうすんだい?あの彼女を助けなさい」という歌詞があります。私もこれからは、地域の人として微力ではありますが、泣いている子どもを助ける活動をしていこうと思います。

元情報委員長 木方 香織

この度は、75周年特別表彰をいただき、誠に光栄に存じます。

夏に宇都宮市P連より、県P連から推薦があり表彰されるとの連絡で非常に驚きました。

そして秋に県P連からメールをいただき、日P連からの表彰、来賓予定のそうそうたる顔ぶれ、さらに場所が千代田区紀尾井町のホテルニューオータニということでさらに驚きました。このような機会は二度とないと思い、喜んで出席させていただきました。

当日は、当時一緒に活動していた仲間数年ぶりに会うこともでき、懐かしくもありうれしい思いでいっぱいになりました。当時の話をしたり近況報告をしたりなど、楽しく充実した時間を過ごすことができました。

PTA活動は大変なこともあります。子どもたちや学校、地域のために共に頑張った仲間ができたことをありがたく思います。そして支えてくださった方々に感謝いたします。

シリーズ④

PTAに対する想いを聞いちゃいました

PTA奉仕作業
(運動会のテント設営)

西方小学校のPTAは、誇るべき自慢の組織で、協力的かつ建設的な方々ばかりです。そのことを改めて実感したのは、今年度実施した創立一五〇周年記念事業を共に作り上げる過程です。学校だけではなかなか手が回らない航空写真撮影の手配や記念リーフレット作成等に伴う緻密な計画、田んぼアートの依頼や保護者や地域の方々への協賛金の呼び掛けに至るまで、驚異的なスピードと完成度で仕上げていただきました。10月には無事に式典を開催することができ、その様子は新聞などのメディアにも取り上げていただきました。

ともに育む
栃木市立西方小学校長
小倉 寛史

また、コロナ禍で活動が制約され、なかなか実施できなかった奉仕作業や学年PTA行事等、緩和されるや圧倒的な熱量で活動していただきました。このように一年を通して学校と保護者が共に活動し、様々な面で支えてくださることで、西方小の子どもたちは健やかに育まれています。これからもPTAの皆様としっかりと連携し、西方の未来を創造していきたいと思います。

ニューノーマルなPTA

鹿沼市立北小学校PTA会長

金子 慎吾



本年度は万人にとって一陽来復の年でした。新型コロナの分類が引き下げられた5月、私はPTAのスローガンとして「ニューノーマル」を掲げました。漫然と「常態」に戻るのではコロナ禍を経験した意味がない。停滞と後悔を血肉にしなければ。より創意がされ、より進化した「新常态ニューノーマル」を築こうと言う決意表明でした。

先ずは、総会・役員会・委員会などのあらゆる会議を対面形式に戻しました。書面形式を継続している団体等もありますが、「ノンバーバルな挙動が読み取れる」「人間関係を築ける」「新しいアイデアを生みやすい」など負担軽減を上回る利点があり、何よりPTAが児童を中心とした保護者と教職員の信頼関係を土台に成り立つことを考えれば、対面会議に代替し得るものは皆無と言えるでしょう。



学年委員会が主催した親子福祉体験

次は委員会活動。広報・生活指導・施設改善等の専門委員会ごとの活動と、児童の発達段階や学習状況に応じて学年ごとに企画する体験授業を再開。時勢柄、外部講師料等が、よりコスト高という課題に直面した変更に、地域人材の活用、柔軟な予算対応などの工夫で乗り越え、かつ新味も加えられました。

学校保健委員会の再開に当たっては、児童と保護者によるグループでテーマに沿って意見交換する形に趣向を変え。子どもたちの豊かな成長に「肝要である今の時代：こう言ったらスタイルは他の活動や授業にも取り入れていくべきです」。

就学時健診で新入児童の保護者へのPTAの説明を定例化したのも、より主体的にコミットしてもらいたいという思いから。持続性を考えれば負担軽減はもつともな理屈ですが、大人の都合のみを優先して「まんなか」の子どもたちがなおざりになつては主客転倒。改善とは縮小・省力化だけにあらず、実効性が高まるものでなくてはなりません。

そして、学校が地域の要であるべき現代、学校のステークホルダーは保護者だけに留まりません。PTAは存続していくでしょうが、私たちの「PTAに対する想い」そのバックグラウンドには地域が映されているなければなりません。それこそが私たちが向かうべき「ニューノーマル」です。

辰年の本年、私たちの北小は創立90周年を迎えます。地域の様々な世代が交流できる祝祭やかつて活況を呈したバザーのりニューノーマル、地域の名所を紹介する媒体づくりなどなど、やりたいことは枚挙に遑がありません。次の一〇〇周年に向けて龍のように昇り続ける、そんな勢いのある年にしたいです。



栃木県教育委員会との意見交換会

令和6年1月12日、栃木県本町合同ビルの教育委員室にて、栃木県教育委員会と意見交換会を実施しました。冒頭、揚石会長と阿久澤教育長の挨拶から始まり、それぞれが互いの感謝と御礼の気持ちを表現され、終始和やかな雰囲気の中、意見交換が行われました。しかしながら、教育環境並びにPTAを取り巻く社会情勢と現状には様々な問題が山積しており、◆「とちぎ部活動移行プラン」を踏まえた部活動の環境整備等の具体的なスケジュールと保護者負担に関わる内容について ◆児童生徒数の減少に伴い、スポ少、部活動が休部や廃部になっていることへの対応について ◆大人が学び続けることの大切さの普及や親に対する教育やフォロー制度の充実について ◆連携強化とPTA活動への支援について ◆児童生徒数の減少が学校数の減少を引き起こし、PTAを含む地域力の低下に及ぼす影響への懸念と対応について ◆市町間の教育環境の格差について ◆市町PTA連合会／協議会事務局の設置について等、多くの案件の意見交換が行われました。

コロナの影響を受け、3年間しっかりと時間を取って意見交換をする場が持てなかったこともあり、今年度は非常に充実した意見交換会を開催することが出来たと感じております。県教委と県P連は県単位という広域だからこそ、強い連携は不可欠であると強く感じております。今後もしっかりと連携を深めお互いを理解し合い、全ての児童生徒が輝くために活動して参りたいと決意を新たにしました。

副会長 福田 治久



県教委との意見交換会

地区情報交換会

芳賀地区

時代背景の変化やコロナ明けの活動再開が進む今年度、各学校のPTA活動においても課題や悩みが出てきている中で開催された芳賀地区情報交換会、各PTA会長さんと県P役員で、活発な意見や情報の交換を行いました。具体的には、多様性への時代変化を受けた活動簡素化や手挙げ制の具体例、栃木県における部活動の地域移行の状況共有など様々な意見交換がなされました。

本音で議論が出来たこの会は、大変意義のある会だったと感じました。県Pとしては今後このような機会を充実させるとともに、本会で出た課題に対して向き合いながら、子供たちの笑顔や未来のための良い組織を目指して活動して行きたいと思えます。

監事 井上 直樹

那須地区

令和6年2月13日、大田原市黒羽小学校にて、那須地区（大田原市、那須塩原市、那須町）との情報交換会を開催しました。

那須地区からは那須地区PTA協議会の石川会長はじめ3市町PTA連絡協議会会長など、栃木県PTA連合会からは揚石会長など、総勢16名での意見交換会となりました。

はじめに栃木県PTA連合会の活動、日本PTAでの活動報告を揚石会長が行い、その後、那須地区の活動報告がありました。那須地区の活動報告では、活動が続いているうえで課題と、それに対応する対策など、各地区連合会ではいろいろな工夫を凝らしていることが発表されました。

大田原市では、役員活動の負担軽減と、役員がやらなければならぬという固定概念の解消を目的に、活動を分割し、自由参加のボランティア化を進めている事例が発表されました。



芳賀地区情報交換会



那須地区情報交換会

「できる人ができる時にできる事を」をモットーに、PTA活動をスリム化するため活動を進めている那須塩原市では、SNS（オープンチャット）を活用して市内PTA会長同士で情報交換を行い、課題の共有化やその解決事例などを随時行える環境を作り、継続性・持続性を備えた「今風の連絡協議会」として活動している事例発表となりました。

那須町では、PTA活動は名前から堅苦しく活動内容も伝わりにくいため、イメージアップの一環として、「IAM応援隊」として活動も「プレゼンフェスティバル」として活動するなど、革新的な発表がありました。

閉会後も参加者同士個別に情報交換するなど、積極的な雰囲気もあり、いずれの地域も「子どもたちのため」の活動を前面にしっかりと充実した意見交換となりました。

委員 隅 健一

令和6年度栃木県PTA連合会主な事業

広報紙コンクール募集

小・中学校PTAが発行する広報紙の中から優秀な作品を表彰・公開することにより単位PTAの広報活動のレベルアップとPTA活動の活性化に寄与することを目的とし、作品を募集いたします。

【審査対象】令和5年度内に各学校PTAで発行された紙面またはWEB版での広報紙

※学校だよりは対象外とする。

【応募先】県PTA連事務局（詳細は本会ホームページ・各学校に配信されたメールをご確認ください）

【応募締め切り】

令和6年3月22日（金）必着

三行詩コンクール募集

※日程・内容詳細は、後日各小中学校あてにご連絡いたします。

定期総会

【日時】令和6年6月9日（日）

13時～16時

【場所】栃木県教育会館

大ホール

子育てセミナー2024

【日時】令和6年11月8日（金）

【場所】宇都宮市文化会館

大ホール

※詳細は県PTA連ホームページをご確認ください

会長総括



会長 揚石 哲司

今年度もこの新聞を発行し、PTAの活動を広くお伝え出来る事、大変嬉しく、会員の皆さん、関係各位に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の対応が緩和され世の中や学校の事業が動き始めています。これには、子供たちの学びや歩み、経験を止めてはいけないという会員の皆さんの崇高な思いや、ご協力の賜物であると感じています。事業の再開に当たっては、本当に大切なもの、必要なものが何かを今一度良く考え、会員の皆さんの負担を増やすことなく、皆が同じ方向を向いて進んで行きたいと思えます。これからもご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

【事務局だより】

インターネット環境の伸展により各種端末での文書の利便性が高まってきたことから、今回からWEB版の広報紙を発行することのになりました。見やすさを考慮して作成いたしましたがいかがでしょうか？取り上げてほしい話題や、各学校でのPTA活動の情報提供等がございましたらどしどし事務局までご連絡下さい。

（事務局 松本 千栄子）

栃木県PTA連合会 保障制度のご案内 （こども総合保険）

適用される割引率は約42%（※）です。

24時間電話健康相談・セカンドオピニオンアレンジサービス等が利用可能

募集

学校から3月上旬に制度案内の封筒が配布されます。オンラインでもお申込みいただけます。

主な補償

- ①こどものケガや病気の24時間補償
- ②日常生活上の「個人賠償責任補償」

「学校から貸与された学習端末」については、学校外での破損・紛失・盗難にあった場合の法律上の損害賠償責任を補償します。

令和4年度は、県下全体で1年間の保険金支払い件数が5,553件になり、1日に約15件の割合となっております。

◆令和4年度 主な事故例と保険金支払い◆

- ◇体育の授業中、キャッチボールで手首を骨折。 通院 162,000円
- ◇サッカー部でプレー中にジャンプした際、着地で左足の脛を骨折。 入通院・手術 196,000円
- ◇自転車にて登校中に転倒し、手首を骨折。 通院 84,000円
- ◇杖をついていた高齢者と不注意で接触し、相手が転倒してケガを負う。 個人賠償 3,293,000円
- ◇自転車走行中に高齢者にぶつかり相手が腰を骨折。 個人賠償 1,348,000円
- ◇自転車走行中、信号の無い交差点で車と出会い頭に衝突し、車が破損する。 個人賠償 336,000円

上記は保険金支払い例です。制度の詳細につきましては取扱代理店・扱害または引受保険会社にお問い合わせください。

（承認番号：S-240319・有効期限2025年1月）

栃木県PTA連合会保障制度

お問い合わせ先

制度引受保険会社
AIG損害保険株式会社
宇都宮支店
宇都宮市松が峰1-3-15
AIG宇都宮ビル2階
電話：028-346-4100
9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始除く）
担当：鈴木

取扱代理店・扱害
株式会社 栃木保険

宇都宮市栄町6-15 赤羽ハイツ1F
電話：028-643-6611
9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始除く）
担当：川村・駒野



※割引率について：ご案内している保険商品の算出基準である保険料（加入者数20名未満の団体における保険料）に対する割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。次年度以降、割引率が変更となる場合がありますので予めご了承ください。

栃木県PTA活動補償制度

栃木県PTA活動補償制度はPTA活動中のさまざまな事故を幅広く補償する制度です

こんなとき(傷害)や 運動会のPTA競技で...  転倒して負傷してしまった ①	こんなとき(賠償責任)も PTA奉仕活動で...  学校のガラスを割ってしまった PTA球技大会で...  車にボールをぶつけて破損させてしまった ②
でも大丈夫！心配はいりません 栃木県PTA活動補償制度があります 傷害保険 賠償責任保険 おまかせください！ でも、それって どんな制度なの？ ③	それはね...  こちらからも！ 学校が 栃木県PTA連合会に 加入していれば、 一人当たり 100円で加入できる 魅力的な制度なんです 詳しくは栃木県PTA連合会ホームページ内の PTA教育振興会（PTA活動補償制度）のバナーを クリックして資料をご確認ください♪ ④

栃木県PTA教育振興会

宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内 TEL028-622-2839

栃木県PTA活動補償制度

PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険

栃木県PTA活動補償制度は、PTA行事参加中の万一のおケガやPTAが負う損害賠償責任に備え、安心してPTA活動に専念していただくための制度です。

制度の詳細につきましては、学校に配布されている「栃木県PTA活動補償制度の手引き」をご確認いただくか、引受保険会社にお問い合わせください。

制度引受保険会社
AIG損害保険株式会社
宇都宮支店

宇都宮市松が峰1-3-15 2F
電話：028-346-4100
受付時間 9:00～17:00
(土・日・休日・年末年始を除く)

D-006925(2025-01)